

海邦国体記念 北中城村長杯 OFA第36回沖縄県選抜少年サッカー大会

【大会要項（案）】

1. 趣旨 ①海邦国体記念事業として、北中城村内のサッカー振興の契機とする。
②沖縄県少年サッカーのレベル向上に寄与する。
③沖縄県内のリーダー養成の一環として行う。
2. 名称 海邦国体記念 北中城村長杯 OFA第36回沖縄県選抜少年サッカー大会
3. 主催 北中城村 北中城村教育委員会 (一社)沖縄県サッカー協会
4. 主管 (一社)沖縄県サッカー協会4種委員会
5. 後援 沖縄県 (公財)沖縄県スポーツ協会
6. 特別協賛 ー
7. 大会期日 【予選ラウンド】 2026年9月5日(土)
【決勝ラウンド】 2026年9月6日(日)
【予備日】 なし
【代表者会議】 2026年8月20日(木)20:00 Zoom
【開会式】 なし
【閉会式】 2026年9月6日(日) 全試合終了後
8. 大会会場 沖縄県総合運動公園蹴球場
9. 参加資格 ①大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種登録された選手(小学生)で構成された、北中城村における選抜チーム、または、各地区・県のトレセンチームであること。
②選手は2026年度スポーツ保険に加入していること。
③2014年4月2日以降に生まれた12歳以下のJFAへ登録された選手であること。
④同日開催の北中城村長杯・アイムホームCUPの重複出場はできないものとする。
10. 大会形式 ①参加チームは、北中城村、以下のJFAトレセン沖縄U-12地区トレセン(那覇A、那覇B、島尻東、島尻西、浦添、宜野湾市、沖縄市、うるま市、北中頭、北部、宮古、八重山)、JFAトレセン沖縄U-11 A、JFAトレセン沖縄U-11 Bの15チームとする。
1日目は4チーム4グループでリーグ戦を行う(1グループのみ3チーム)。
2日目は1日目の結果による順位トーナメント戦を行う。
②リーグ戦の順位は、(1)勝ち点(勝ち=3, PK勝=2, PK負=1, 負=0) (2)得失点差 (3)総得点 (4)当該チームの勝敗 (5)抽選の順とする。
③勝敗が決しない場合は、PK方式(3名)を採用する。
④試合時間は、12分-1分-12分-5分-12分(第1ピリオドと第2ピリオドは全選手入れ替えとし第3ピリオドについては混合で編成し、再度出場も可とする。)
11. 組み合わせ 組み合わせは4種委員会により抽選を行い、代表者会議にて公開される。
12. 競技規則 ①大会実施前年度のJFA「サッカー競技規則」およびJFA「8人制サッカー競技規則」による。
但し、細則については、4種用として競技会規定を定める。決定は4種委員会の内容による。
②チーム構成
監督1名、コーチ2名とし、原則、各トレセン認定コーチが担当する(北中城村を除く)
選手は16名~20名とする。第1・第2ピリオドは総入れ替えとし、第3ピリオドは自由交代とする。
参加選手は最低各試合1ピリオドは出場することを義務づける。(負傷等による交代を除く)
③エントリー表は、受付時に提出する。
④フィールドは、縦68m、横50mとし、ゴールは少年用(簡易ゴールも可とする)を採用する。
13. 表彰 決勝トーナメント優勝・準優勝を表彰する。
M I T【Most Impressive Team】を表彰する。(選考は県トレスタッフにておこなう)
14. 参加料 地区トレセンチーム 32,000円 (1日1選手1,000円、16名を基準とする。17名~20名登録でも変更はしない)
県トレセンチーム 1日1選手1,000円
下記期限日までに協会指定振込用紙にて振り込むこと。なお、当日不参加選手への返金は行わない。
北中城村チームは参加料は全額減免とする。
振込期限日: 2026年 8月 21日(金)

15. 審判
- ①審判は4人制を採用する。
 - ②審判は帯同審判制を採用し、参加チームにおいては大会運営の協力を義務付ける。
 - ③審判は各チーム2名とする。
 - ④審判は審判着を着用する。
 - ⑤主審は3級以上が望ましいが、十分な経験を積んだ4級審判も可とする。
 - ⑥審判証を本部へ提示すること。(写真の表示が無いものは無効とする。)
 - ⑦審判は担当する試合30分前から5分間の審判ミーティングを義務づける。
 - ⑧主審を行った者は、審判報告書の提出を行うこと。
 - ⑨宮古・八重山地区においては、審判の帯同を免除する。
(大会本部にて割当てを行う。)
16. ユニホーム
- ①各チームは、色彩が異なり判別しやすい正・副2組のユニホーム(ゴールキーパーもフィールドプレイヤーと異なる色彩正・副2組)を準備する。
 - ②主審によって対戦する両チームのユニホームを決定する。その際、主審は両チーム2組のユニホームの中からシャツ、ショーツ、ストッキングのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ③背番号は、選手固有の番号を付し、判別の明確な色彩及びサイズであること。
 - ④ユニホームの色彩は、審判が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。
 - ⑤ソックスについて、セパレート履きの場合はショートソックスはカーフソックスと同色とする。
17. ベンチ
- ①ベンチ(エリア)には、チーム関係者(監督・コーチ・登録選手)以外はいれない。
ベンチ入りしているエントリー選手は、フィールドでプレーしている色彩と異なるビブスを着用する。
 - ②チーム関係者以外(保護者・登録外選手・応援団)はベンチ(エリア)外で大会本部の定めた場所、若しくは試合進行の妨げにならない場所で観戦する。
 - ③試合終了後は、速やかにベンチ(エリア)を空ける。
18. 懲罰規定
- ①次の選手は、次試合を出場停止とする。
 - ・同一試合で警告を2度受けた選手及び退場処分を受けた選手
 - ・本大会累積警告が2枚の選手
 - ②レッドカードでの退場選手に関して、悪質な違反の場合は大会規律・フェアプレー委員会と沖縄県サッカー協会4種委員会にて裁定する。
 - ③前項②以外の事項の場合は、大会規律・フェアプレー委員会と(一社)沖縄県サッカー協会規律委員会にて裁定する。
- ※大会規律・フェアプレー委員会：4種委員長、4種副委員長、4種委員会審判部長、本大会運営責任者、会場運営主任。
19. その他
- ①荒天時(強風,大雨,雷雨等)により試合続行が不可能と判断された際は、試合を停止し、天候が回復次第、残り時間を再開する。詳細は、項目⑨、⑩に規定する。
(試合開始前は大会本部にて、開始後は主審の判断にて決定する。)
 - ②ケガについては各チームにて応急処置を行う。
 - ③大会中におけるケガや賠償が発生する損害については、当事者で解決すること。
 - ④使用する施設・設備を大切にし、マナーを厳守すること。
 - ⑤貴重品の管理・ゴミの持ち帰りは、各チームの責任で行うこと。
 - ⑥飲水タイムについては、大会当日の天候により主審の判断にて行う。
 - ⑦試合会場では他競技も実施されるため、駐車場が非常に混み合うが、
一般道での路上駐車、一時駐車は厳禁とする。また、マイクロバス等の大型車両で来場するチームは各々で駐車場を確保すること。選手・役員の車からの乗降、荷物の上げ下ろしなどは、駐車場内で行うよう徹底すること。

⑧大会参加チームは、大会期間中、4種委員会により撮影された動画・画像は4種委員会の広報活動において使用されることを許諾したものと見なす。

⑨落雷に関して、試合開始・試合実施が困難な場合の取り決めは、下記の通りとする。

(1)試合開始前

- (a) 試合開始時において、雷の発生(予報)により、試合成立が困難と判断した場合には、試合を開始せずに、60分間天候状況を確認する。
- (b) 60分間天候状況を確認して、なお、状況が変わらない場合においては、大会本部(会場責任者)が中止を決定する。
- (c) どうしても当日中に勝敗を決定しなければいけない場合には、大会本部にて抽選で勝敗を決定する。

(2)試合中

- (a) 審判が雷の発生により、試合続行が困難と判断した場合は、試合を停止する。
- (b) 大会本部(会場責任者)が雷の発生により、試合続行が困難と判断した場合には、試合を停止するよう審判に勧告するものとする。
- (c) 再開の目処として、雷が完全に鳴り止んでから30分間状況を確認する。30分間経過後も雷が鳴り止まない場合には大会本部(会場責任者)にて「更に中断を続行するか?」、「大会を中止するか?」について判断を行う。
- (d) 中断の時間は最長60分間を限度とする。60分経過後に試合再開が不可能な場合は試合中止とし再試合を行う。ただし、試合の3/4が経過している場合(※1)、試合成立とし、再試合は行わない。
再試合の実施は、次の基準に従う。
 - (i)中止試合の前半が終了していない：
中止試合の状況(時間・得点)は引き継がず、前半開始からの再試合とする。
 - (ii)中止試合の前半は終了し、3/4が終了していない：
中止試合の状況(時間・得点)を引き継ぎ、中止時点からの再試合とする。
 - (iii)中止試合の3/4が終了しており試合は成立しているが、同点の場合：
次試合に進出するチームを決定する、または順位を決定する必要がある場合、大会本部において抽選で勝敗を決定する。
※1 20分ハーフの試合の場合、後半10分を経過している場合、試合成立とする。
- (e) (d)の状況において、どうしても当日中に勝敗を決定しなければならず、再試合が不可の場合、中断した時点での状況および得点にて勝敗を決定する。
中止試合の3/4が終了していない：
試合は不成立とし、大会本部において抽選で勝敗を決定する。
中止試合の3/4が終了している、かつ同点である：
試合は成立とし、大会本部において抽選で勝敗を決定する。
- (f) (a)～(e)に記載内容の補完のために、別紙「落雷等、試合続行不可時における、再試合・勝者決定方法整理」を設定し、これに従うものとする。

⑩ その他何らかの要因によって、試合開始及び試合続行が困難な場合の取り決めは、下記の通りとする。

- (1) ⑨の「落雷に関して」に準ずる。
- (2) 但し、「生命に危険性がない」と判断される場合においては、大会本部(会場責任者)の判断にて柔軟な対応を行う。対応に関して、参加チームからの異議は受け付けない。

別紙「落雷等、試合続行不可時における、再試合・勝者決定方法整理」

試合経過状況				リーグ戦		トーナメント戦	
15分ゲーム	20分ゲーム	2ピリオド制	3ピリオド制	再試合可	再試合不可	再試合可	再試合不可
試合開始前	試合開始前	試合開始前	試合開始前	0-0でキックオフから再試合	引き分け	0-0でキックオフから再試合	本部抽選
前半途中	前半途中	第1ピリオド途中	第1ピリオド途中		引き分け (得点は無効とし、0-0とする)		
前半終了	前半終了	第1ピリオド終了	第1ピリオド終了	得点、試合時間を引継ぎ再試合		得点、試合時間を引継ぎ再試合	
後半0分～7分30秒 (*2)	後半0分～10分 (*3)	第2ピリオド 0分～5分 (*1)	第2ピリオド途中				
—	—	—	第2ピリオド終了	同点の場合： 引き分け (得点は中断時点) 同点ではない場合： 中断時点の結果で勝敗決定		同点の場合： 得点、試合時間を引継ぎ再試合 同点ではない場合： 中断時点の結果で勝敗決定	同点の場合： 本部抽選 同点ではない場合： 中断時点の結果で勝敗決定
後半7分30秒～15分 (*4)	後半10分～20分 (*4)	第2ピリオド 5分～10分 (*1)	第3ピリオド途中				
後半終了	後半終了	第2ピリオド終了	第3ピリオド終了				
PK戦途中	PK戦途中	PK戦途中	PK戦途中	—		得点、試合時間を引継ぎ再試合 (PK戦のみ)	PK戦の途中経過に依らず、本部抽選

(※1) 1ピリオド10分想定

(*2)7分30秒を含まない (*3)10分00秒を含まない 10分以外の場合、各ピリオドの半分の時間を基準とする。

(*4)アディショナルタイムを含む